

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E142F012		地理学実習 (Practice on Geography)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	1	3	教育学部			氏名 土居晴洋、小山拓志											
						E-mail hdoi@oita-u.ac.jp (土居), ktakushi@oita-u.ac.jp (小山) 内線 7549 (土居),											
授業の概要	地域調査の方法論について、史資料や研究論文、統計データなどを整理したうえで、課題を設定し、聞き取り調査や地形調査を実践して、調査成果の整理と課題を抽出する。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 調査の課題を設定することができる。																	
目標2 調査計画を立案することができる。																	
目標3 観察・測量・聞き取り等の調査を実行できる。																	
目標4 調査成果を整理し、まとめることができる。																	
目標5 調査の過程、まとめについて、意見を述べ、議論することができる。																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 地域調査の必要性と意義 (担当 小山拓志)																	
2 地域に関する史資料の所在と入手 (担当 土居晴洋)																	
3 地域に関する研究論文の所在と入手 (担当 土居晴洋)																	
4 地域に関する研究の整理と課題の抽出 (担当 土居晴洋)																	
5 統計資料による地域の特徴の考察 (担当:土居晴洋)																	
6 アンケート調査の方法論 (担当:土居晴洋)																	
7 聞き取り調査の方法論 (担当:土居晴洋)																	
8 土地利用調査の方法論 (担当:土居晴洋)																	
9 地形調査の方法論 (担当:小山拓志)																	
10 測量の概念と方法論 (担当:小山拓志)																	
11 気候調査の方法論 (担当:小山拓志)																	
12 植生調査の方法論 (担当:小山拓志)																	
13 土壌調査の方法論 (担当:小山拓志)																	
14 景観観察の方法論 (担当:小山拓志)																	
15 地域調査の成果の整理と課題 (担当:小山拓志)																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	受講生の主体的な検討による計画、調査、まとめを行う。					工夫 その 他の	LMS (Moodle) の活用									
	B:意見の表現・交換																
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備 学修	資料の読解、疑問点の整理 (8h)															
	事後 学修	課題の実施 (15h)															
教科書	野間晴雄ほか編著 (2012) 『ジオ・パルNEO - 地理学・地域調査便利帖 - 』海青社																
参考書	牛山素行 『地域の調べ方講座』 (古今書院、2012)																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10					
	質疑応答など授業に主体的に参加する。	30%															
	時間外学習を適切に行う。	30%															
	最終レポートを提出する。	40%															
注意事項																	
備考																	
リンク																	
	URL																